

中央大学書道會

題字／文学部4年 和泉友依子

寒さも本格的となる頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は10月29日から11月1日に開催されたオンライン白門祭での書道會の活動をご紹介します。

例年、書道會は白門祭にて書道パフォーマンスと『中大書展』を行っております。

残念ながら今年度は白門祭がオンライン開催となり、書道パフォーマンスは断念せざるを得ませんでした。

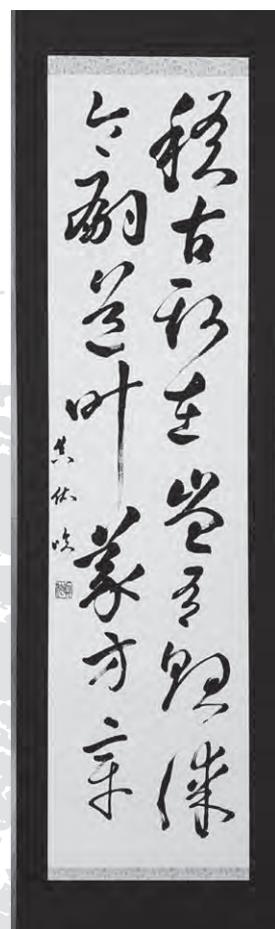
しかしながら、ホームページ上に作品を公開するという新しいかたちで『中大書展』を開くことができました。

ここで一部ではございますが、作品と作者のコメントを披露させていただきます。



◎和泉友依子 書『鄭長猷造像記』

「太守・護軍長史・雲陽伯鄭長猷、爲亡父敬造」
大学最後の作品制作ということで、一年生の頃からずっと書き続けていた大好きな古典に改めて向き合いました。



◎石金眞依 書『書譜』

「稽古斯左。豈有貽謀令嗣。道叶義方章」
自分と向き合って素直に書くことを意識しました。学内ではなく自室で書くのは新鮮でした。



◎籙木翔 書『古今和歌集』

「夜を寒み衣かりがねなくなべに萩の下葉も移ろいにけり」

寒さが日ごとに深まるこの時期の和歌を書きました。この書の雰囲気から季節を感じて頂けるでしょうか。

★新入生を募集しています！

新入生LINEグループもあります。少しでもご興味のある方はTwitter、InstagramにDMをお送りください。お待ちしております！

この他の作品もそれぞれが心をこめて筆を執っております。

中央大学オンライン白門祭特設サイト書道會ページ
(<http://onlinehakumonsai.com/participant/154.html>)にて

12月25日までご覧いただけます。

今からでも是非ご覧ください！

公式SNS Instagram  @chuoshodo Twitter  @chuo_shodo